

浅野さち通信



市民相談は浅野さちまで！ 090 (1763) 7785

発行者：市川市鬼高1-14-3 浅野さち 令和6年3月発行

いのちと健康を守る

令和6年2月定例議会報告

皆様いつも大変お世話になっております。浅野さちです。
始めに元旦に発生しました。能登半島地震においてお亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますと共に被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。
2月定例議会が開催され、令和6年度予算を審議致しました。今後とも皆様の声を伺い課題に対し全力で取り組んで参ります。



带状疱疹ワクチン費用助成開始！

水痘带状疱疹ウィルスは成人の90%以上が保有していると言われ、50歳以上の方の発症リスクが高い疾患であり、合併症として神経痛による痛みが持続する場合があります。私は令和4年の6月議会、令和5年12月議会と質問を行いました公明党としても強く要望をしておりました。
この度、带状疱疹ワクチン費用助成が令和6年4月1日接種分から開始となります。対象は50歳以上の皆様で、内容は生ワクチン1回まで3000円不活化ワクチン2回まで1回あたり7000円で計14000円です
申請方法はオンライン・郵送・申請窓口（保健センター）
領収書と接種済証の2点が必要です。尚1度限りの助成となります。



女性の視点からの防災体制

女性は防災体制の担い手として、避難所運営や乳幼児、要配慮者へのニーズに配慮できます。そのような視点から6項目質問致しました。
今回は避難所についての通告文を掲載致します！

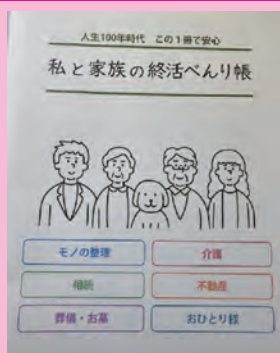
- 1 プライバシー確保の為に間仕切りや男女別の更衣室、休養スペースの設置
- 2 乳幼児のいる家庭用のエリアやキッズスペースの確保
- 3 女性用の仮設トイレを多めに設置し、男性用と離す配慮や夜間の照明の設置
防犯ブザーの準備と配布
- 4 要配慮者が使用する生活用品（乳幼児の離乳食・おしりふき）の備蓄状況



実現しました！！

「私と家族の終活べんり帳」が完成しました。モノの整理・介護・相続・不動産・葬儀とお墓・おひとり様の6項目で掲載されています。

配布場所は（市役所、行徳支所、高齢者サポートセンター）
また、市川市HP（楽しく終活してみませんか）で検索するとエンディングノート、相談機関、講座や講演会のお知らせが掲載されています。



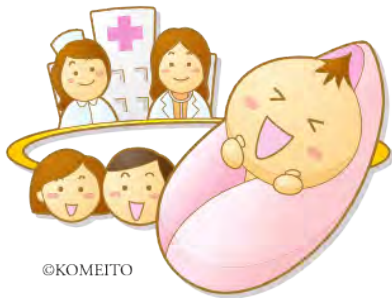
介護人材確保について

介護人材不足は団塊の方が75歳になる2025年には、全国で約32万人不足と言われていています。そのような中、本市は現在介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修に係る費用の半額を助成しています。また令和6年度よりケアマネジャーの研修費用の半額を助成し新規ケアマネジャーの育成を推進します。

また、令和2年から介護に関する基本を学ぶ入門研修を実施しており、受講定員50名から75名に拡大します。その後、就職支援として介護事業者へのマッチング支援を行っています。更なる拡充と支援策を要望しました。



1か月児健診を開始！



現在法定健診として1歳6か月児と3歳児健診を行っています。出産後から就学前までの切れ目ない健康診査の伴走型相談支援体制が大事と強くお訴えして参りました。

そこで、生後1か月を迎える乳児を対象として令和6年度より開始します。市内の医療機関において個別健診にて行います。「1か月児健康診査」は乳児の発育状況や栄養状態に加え育児の相談等行うものです。

5歳児健診は精神発達の状況や、言語の遅れなどの心身異常の早期発見ができます。集団健診で行う為、現在医師会と協議を進めています。

3歳児健診における屈折検査機器による視力検査を実施！

屈折異常や斜視に伴う弱視は、日常生活では気づかれない事が多い事から、発育が進み視力検査が可能となる3歳児に対して令和6年度から屈折検査機器を使い保健師が3歳児の集団歯科健康診査の際に行います。

また、異常の判定ができた場合は医療機関と連携し速やかに再検査を行う体制です。子どもの眼の機能は3歳ころまでに急速に発達し、6歳から8歳までにほぼ完成すると言われていています。異常の早期発見、早期治療が重要です。



人間ドックの拡充・脳ドックの導入を



本市は国保加入者の人間ドックの一部費用助成は40歳未満の方が2万3千円、また40歳以上の方が1万円となっています。残念なことに脳ドックは行っていません。

受診の現状は40歳未満が65件そして40歳以上が約460件、他市は約3000件と約7倍の差がありました。他市の支払い方法は指定された医療機関で受診した場合、窓口支払いで助成額を減額された自己負担分の支払いで完結する方法で行っています。

その為を受診件数が多いと思われます。私は受診方法の見直しと40歳以上の助成額の拡充、また脳ドックの一部費用助成の導入を強く要望しました。